

瀬戸内国際芸術祭

参加無料

シンポジウム「瀬戸内トーク」

2023.9.10 [日] 14:30-16:00

「海の復権」を掲げ、現代アートによって瀬戸内海の魅力を世界に発信する「瀬戸内国際芸術祭」。2025年の次回開催に向け、アートによる地域再生の歩みを振り返るとともに、これからの芸術祭の在り方や次回に向けた展望などについて語ります。

14:00 開場・受付

14:30 基調講演 北川フラム総合ディレクター

15:00 パネルディスカッション

[パネリスト]

妹島和世 建築家

田島征三 絵本作家

北川フラム 総合ディレクター

[進行]

池田豊人 実行委員会会長・香川県知事

16:00 閉会 ※時間は前後する場合があります

会場 | かがわ国際会議場

高松シンボルタワー タワー棟6F[高松市サンポート2-1]

※JR 高松駅から徒歩約3分

定員 | 250名 [申込先着順]

申込期間 | 8/22[火]～(定員に達するまで)

申込方法 | 右下のQRコードから

イベントチケットサイト/アプリ Peatix で無料チケットを
購入の上、当日はチケットのQRコードをご提示ください。



パネリスト



©Aiko Suzuki

妹島和世

1956年茨城県生まれ。建築家。
1987年妹島和世建築設計事務所設立。1995年西沢立衛とともにSANAAを設立。
主な受賞として、日本建築学会賞*、ベネチアビエンナーレ国際建築展金獅子賞*(イタリア)、プリツカー賞*(アメリカ)、芸術文化勲章オフィシエ(フランス)、芸術選奨文部科学大臣賞など多数。主な建築作品として、金沢21世紀美術館*(金沢市)、Rolex ラーニングセンター*(ローザンヌ・スイス)、ルーヴル・ランス*(ランス・フランス)など。
瀬戸内国際芸術祭には初回から参加。犬島「家プロジェクト」(2010～)、犬島 ぐらしの植物園(2016～)を手がけるほか、海の駅「なおしま」*(2006～)、直島港ターミナル*(2016～)が、芸術祭参加作品となっている。(*はSANAAとして)



田島征三

1940年大阪府生まれ。絵本作家。
1965年初めての絵本「ふるやのもり」出版。東京・京橋「南天子画廊」にて初個展。以来、絵画、絵本、イラストレーション、エッセイ、造形作品等を発表し続けている。2009年新潟県十日町市の廃校になった小学校を丸ごと絵本にした「空間絵本」を制作。「絵本と木の実の美術館」開館。
主な受賞として、プラティスラヴァ世界絵本原画展(BIB)金のリんご賞、講談社出版文化賞受賞、小学館絵画賞、絵本につぼん賞、日本絵本賞、巖谷小波文芸賞、ENEOS児童文化賞、産経児童出版文化賞美術賞など多数。
瀬戸内国際芸術祭には第2回から参加。大島で「青空水族館(2013～)」「森の小径(2016～)」「Nさんの人生(2019～)」を制作。

■主催・お問い合わせ

瀬戸内国際芸術祭実行委員会

事務局 TEL.087-813-0853 (平日 8:30-17:15)

<https://setouchi-artfest.jp/>



令和5年度 文化庁

文化芸術創造拠点形成事業

ART

SETOUCHI